

第6学年〇組 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 嶋田 純子・大熊 徳男

1 単元名 〇〇小をもっとよくするためにできることを考えよう

2 単元の目標

- (1) 学校生活に関心をもち、自分のできることから課題を見い出すことができる。(課題設定の能力)
- (2) 学校生活をよくするための課題解決の見通しをもち、積極的に人と関わりながら粘り強く課題を解決することができる。(問題解決の能力)
- (3) 課題解決の過程で得たよくするための考えを分かりやすくまとめ発信したり、様々な人との交流方法や学習スキルの習得を図ったりすることができる。(学び方の習得)
- (4) 様々な人々と共に生きる大切さを理解し、自分にもできることを考え、生活の中で実践することができる。(自己の生き方)

3 ICT活用のポイント

(1) テレビ会議システム



- ① 活用のねらい
 - ・遠隔地間(〇〇小学校-〇〇中学校)をテレビ会議システムで結び、情報共有を行う。
- ② 活用の工夫
 - ・遠隔地間で、互いの表情や反応を確かめながら話し合わせる。

(2) プレゼンテーションソフトウェア



- ① 活用のねらい
 - ・写真と文字を使って説明することにより、中学生が本校の現状を理解できるようにする。
- ② 活用の工夫
 - ・字や写真の大きさに留意し、相手に伝わるようにする。
 - ・ポインターで指し示し、注目できるようにする。
 - ・スライドに合わせて、これまでの取組や現状・課題を説明する。

4 本時の学習(37/46)

- (1) 目標を達成するために必要な学習活動(時間を守る、K:あいさつ、M:なかよしR:校内美化)にむかひながら、これまでの取組の様子や現状・課題を中学生に分かりやすく説明し、中学生と意見交換することを通して今後の活動について考えを深めたり広げたり深めたりすることができる。
- (2) 展開

時間	学習活動及び内容	指導上の留意点○個別の支援◎評価
5分	1 本時の学習課題を知る。 ・学習のねらいを確認する。 ・中学生にあいさつをする。	・指導上の留意点○個別の支援◎評価 ・元気にあいさつすることによって、和やかな雰囲気では話合いができるようにする。
20分	2 これまでの取組や現状・課題について説明する。 K(N)(6-1) M(R)(6-2) ・あいさつ運動 相談室 ・登校班長集会 交流遊び ・声が小さい 輪が広がらない 3 中学生の意見を聞き話し合う。 ○予想される話合いの内容 ・小学生の時の取組 ・中学校での取組 ・規律正しい生活の必要性について中学生生活で感じていること ・友達とのつながりについて中学生生活で感じていること ・プロジェクト創始時の思い 4 話合いのまとめをする。 ・話合いで考えが広まった・深まったこと ・今後の活動の見通し	・提示資料が見やすくなっているか確認し、調整する。 ○電子黒板の操作は担当児童が行い、教師はその補助にあたる。 ・ホワイトボードに発表の概要(取組・現状・課題)をメモすることにより、話合いの焦点化を図る。 ・コラボノート上の付箋に中学生の意見や話合いで出た内容を書き込ませ、両校の間で話合いの共有化を図る。また、その際に関連する付せんを近くに置いたり、線で結んだりして、まとめにつながるようにする。 ○気付いた点を付箋にメモすることにより、それを手がかりに発言を促す。 ・付箋やホワイトボードを基に、話合いのまとめができるように支援する。 ◎話合いを通して今後の活動について考えを広げたり深めたりすることができる。(発言・ワークシート)
15分	5 小中交流体験について意見交換をする。 ○予想される話合いの内容 ・中学の授業の様子や内容 ・小中合同あいさつ運動の様子 ・のぼり旗の文言の案 ・他の小学生となかよくなる交流遊びの内容	・10月に行われる小中交流体験に向けて、意欲が高まり、中学生生活への見通しがもてる内容になるよう支援する。 ・Kはあいさつ、Mは他校との交流を最初に話し合い、タイミング良く他の話題に触れることができるようにする。
5分	6 学習のまとめをする。 ・お礼を言い、感謝の気持ちを伝える。	・話し合った価値を実感している発言内容をもつ児童を抽出し、お礼の言葉に添えて発表できるようにする。